

ポケットジャーナル



★姉妹都市リガを知ろう

十月三十日から三日間、さんちか広場にて神戸ーリガ(ソ連)姉妹都市提携記念の「リガ展」が開催された(主催/神戸市、日ソ協会兵庫支部連合会、神戸新聞社)



さんちか広場のリガ展

初日の午前10時、井尻昌一神戸市助役、久保一郎日ソ協会会長、ルードネフ代理総領事らによってテープカットが行われた。
会場には、姉妹都市提携調印文、リガ市から贈られた民芸品や児童画、リガ市を紹介する絵画、写真などが展示される、コニヤックなどソ連の特産品やレコード

も即売されて終日訪れる市民でにぎわっていた。

★プロモ・リ登山隊が快挙

ヒマラヤのプロモ・リ峰をめざして七月に神戸を出発した社会人グループ・クラブ雲峰プロモ・リ登山隊の松田副隊長から登頂成功の感激を伝える手紙が届いた。

八月二〇日に行動開始、

氷河の中でのキャンピングに難行を極めた後、十月一日三日高木、金子両隊員が頂上に向かった。「小さな黒点が長い影を引いて二つの上方の頂上の肩へ消えていくのが非常に印象的」であったという。ほどなくトランシーバーで「今頂上に着きました」。七・一四五米、未開拓のプロモ・リ西壁を見事征服、十二月初めには帰国の登山隊に祝福。

★SFファン待望の

SF大会が神戸で
港町、神戸。流行を常に
一歩先取りしている町。神戸。ハイクラ野郎の町、神戸。そんな町神戸で、日本

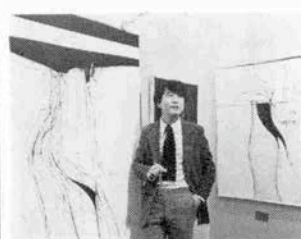
SF大会を一九七五年に開こうではないか、われわれはここに、第十四回日本SF大会開催への立候補を宣言する、と、SFファンの会「ネオス」は、S H I N C O N 実行委員会などが中心となつて神戸での開催に張り切っている。

来年八月二十三、四日に

神戸文化ホールで開かれそのプログラムは、桂米朝による落語「地獄八景亡者」の戯れ、劇団「樺」による公演「スタア」(筒井康隆原作)、日本SF作家クラブによるハブニング劇が主なものとして予定されている。乞う期待。

★中堅画家二人のあゆみ

白を基調にした画面に躍る線、清潔でリズムカルだった絵が、エロスの世界にいでんである。アカデミー画廊で開かれた南和好(行動美術)さんの近作展(10月31日・11月5日)は、新しい展開を見せて中堅作家のバイタリティを見せたい



南和好さん

誕生日 ありがとう



★ちえおくれの問題の啓蒙図書
本運動で発行している啓蒙図書の紹介をします。

ちえおくれの語 三百円 千七百円

初人教授伊藤隆二著 中学生でも

ちえおくれの問題がわかるように

と考へて編集した入門書。全国的

に好評で現在まで三万五千冊頒布

共に育つ 三百円 千七百円

前近江学園校長系賀一雄講演集

「この子らを世の光に」などの名

講演を収録 八十円 千二百五十

中央児童福祉審議会委員松前敏

彦著 ボランティアに関する八つ

の意見と疑問について 五十円

中前敏彦著 世界と日本の流れの

中で精神薄弱問題を考える

ふれあい 三百円 千七百円

本運動京都友の会編 糸賀一雄

講義集 矢野隆夫 野上芳彦の

おとつさんのほけあたま

三百三十円 千八百五十円

京都友の会編 ちえおくれの子の

詩・作文などの作品集

めざすはガキ大将 百円 千二百五十

本運動東海友の会編 ボランティア

活動についての体験談

申込みは左記の本部まで

★神戸生ありがとう運動とは

精神薄弱問題の啓蒙運動です

みなさんの誕生日のお祝いの中か

ら意欲的に百円節約して貯金して

いたたく、各家庭でこの問題につ

いて話し合う機会をつくってください。

このことを手がかりとして、わ

たしたちすべてが、精神薄弱児

(者)をあたかく包む愛の心を広

げると同時に、ひとりひとりの

かけがえない生命について思いを

めぐらせ、年に一度の誕生日を有

意義にしようという運動です。

誕生日ありがとう運動本部

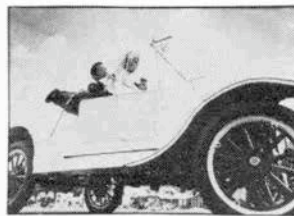
神戸市東山区御幸通八の九の一

神戸国際会館一階郵便局の前

電話二五八一六六一内線三一六

KOBE POST

ンが三百十四点の作品を応募。みごと金賞(神戸新聞社賞)に選ばれたのは北区有野台に住む古家輝雄さんの「結婚パレード」で楽しいウィークが思いだされた。



★ここには心を満たす何かがあります

国鉄元町駅前に白い大きなビルが新築されたのをこ

花時計



★歳末たすけあい運動に思う

師走というのは何となく気ぜわしい。12月に入ると街はお歳暮とクリスマスセールでこった返しあちらこちらで例年の歳末たすけあい運動の行事が今年も始った。

今年は昨年の石油危機

存知ですか? あの元町プ

ラザビルの6階に十一月十一日から元町プラザ文化センターが開設されました。

講目/アートフラワー/キャンドル/日本舞踊/組ひも/スタイル画/遠眺画/流しけぼな/シャボン/押絵/紙人形/木目込人形/日本人形/洋裁/英数進学教室/書道(漢字・かな)/ペン習字/篆刻/茶道/七宝/英会話/仏会話/ギター/手あみ/きもの着付/和裁/箏曲/三絃/バレエ/フランス刺繍/ピアノ/場所/神戸市生田区元町通二丁目一元町プラザビル6階国鉄元町駅南側 ☎〇七八(三三三) 六四三九

★WE CAPTURED A SMALL UFO AT LAST

謎の飛行物体が神戸の上空に出w! あつ貿易センタービルが破壊される……グループZEROの会員で、長い間グループでのイベント活動を行なっていた

以来、物価が毎月のように急騰し、倒産した企業も多く、イライラ、ハラハラしどおしの一年だった。

世の中が不況ムードで少し暮し向きが悪くなる、一番そのしわよせを多く受けるのはやはり老人や心身障害者などの生活力の弱い人たちではないかと思う。

福祉元年という言葉がさかんにとりあげられたのは昨年だが、福祉二年めであるはずの今年はず況ムードの影で福祉もど

梗忠さんが、久しぶりの個展を十一月三日から十日まで三宮さんプラザ二Fの喫茶店パール横の空間で開催。「ここは誰でもが行り来たりできる場でしょう。それだけでも画廊などと違ったハプニングが生まれるのではないかと思つて……」

六月から制作にかかったという作品はドアを開けるとヒューヒューと円盤が飛ぶ個室と写真。またこの作品は十一月十九日から二十四日まで京都のギャラリー16でも展示された。

★11月号神戸百景「神戸大学」の小倉宗夫さんの文中、神戸大学の前身に、神戸商科大学とあったのは神戸商業大学の間違いでした。訂正いたします。

こかへ忘れられてしまった感があった。

年末になるとまた思い出したように「なべの会」とかいような「なべの会」あい運動が始まるが、こうしたたすけあい運動が単に年末だけの行事に終ることなく、年間を通して行なわれるような方法をもつと考えてみてはどうだろうか。

市民がいつでもお互いに助けあうような気運が盛り上つてこそ、神戸が住みよい福祉都市になると思うのだが。(H)

★商家の元永定正・中辻悦子夫妻から阪急神戸西宮北口より今津線で逆瀬川下車、山手へ徒歩で七分位のところへ転居されました。新住所/宝塚市野上二丁目三番地51号(〒665) ☎〇七九七(七二) 四一七二・一五四

★商家の鶴本昭三さんが、転宅をかねて11月23日、晩秋の山の一角に絵や版画、焼物などを並べてのパーティを開かれました。

新居は西宮市柏堂町83風川台サンハイツB1/4024F ☎〇七九八(七二)〇〇七六

★ラジオ関西の吉岡謙さんは、十月十六日附で制作局長になられて本社勤務になり、新しい職場で、新たな視点で、番組作りに努力したいとのことです。

★神戸大丸店長の福島徳男さんは十月末取締役就任に伴い、一層の努力をもつて神戸店長の職務に専念したいとごあいさつがございました。

★アトリエマツシユから店舗移転通知到着。神戸市生田区北長狭通三丁目9ノ14 ☎(381) 五四四五です。

★アカデミク神戸ゆめのサロンの栗田多喜子さん(神戸市兵庫区照野町二丁目72 ☎五二一八四四三)が、十月十六日第一回総合教室の発表会と展示会を、開業会館5F小ホールと展示場で開かれしました。

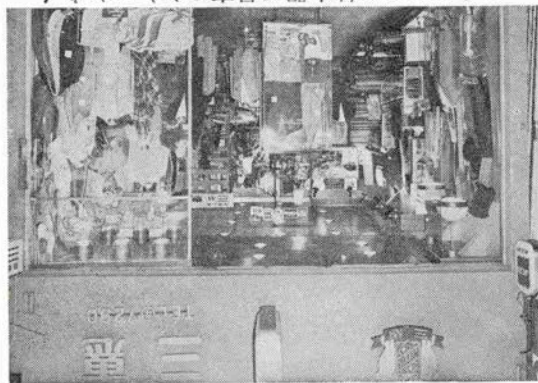
★詩人の足立巻一さんの労作「やちまた」が出版され、十一月二十日生田神社会館で出版記念会が開かれました。(河出書房新社発行、上下2巻三〇〇四)

★神戸まつりや、神戸っ子の会でお世話になった岡本玉治さんが亡くなられ十月十三日平野東福寺でご葬儀がありました。ご冥福をお祈りいたします。

三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

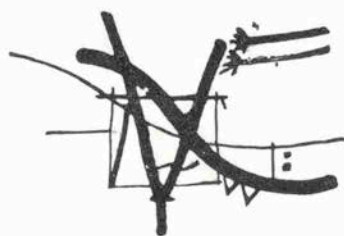
ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!



MERRY CHRISTMAS

未積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
331-1309・6243



額縁絵画・洋画材料
室内工芸品

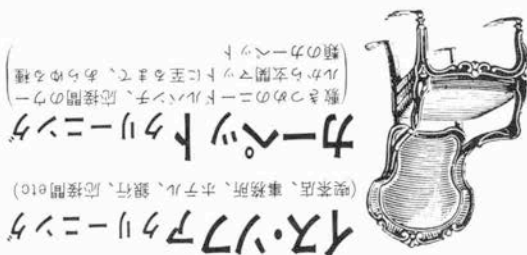
グリーンショッヰ垂水店

神戸市垂水区五色山4丁目13-36
TEL 706-2226

I.F.A MEMBER

クアキコ ServiceMASTER

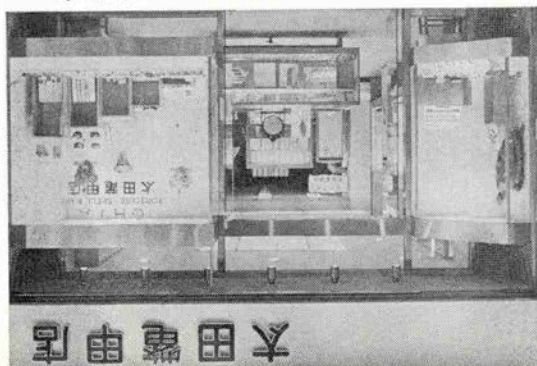
インテリッパ総合クリーニング・建築美洗



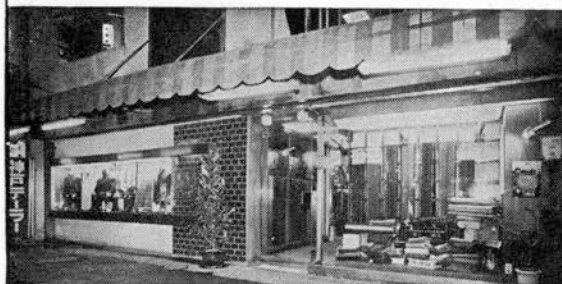
太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

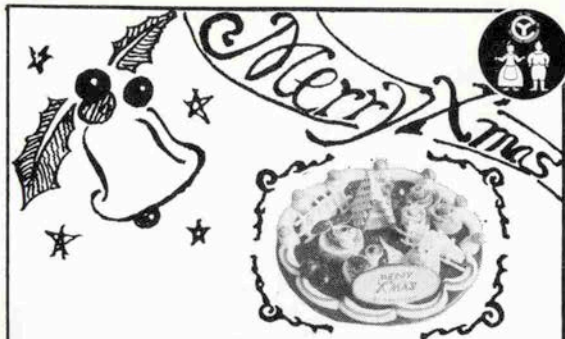
ベッ甲美術品とアクセサリーの専門店



高級紳士服専門店
神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL (391) 0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL (331) 2817・3173



北欧の銘菓 ・クリスマスケーキ予約承ります
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市灘合区熊内町1の8(市立美術館東隣) TEL 221-1164
■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL 331-2421
■さんちか店 神戸三宮地下街スイーツタウン内 TEL 391-3558

MERRY CHRISTMAS

おすし
てんぷら

栄
彌



営業時間
A.M. 11.30 ~ P.M. 9.00

本店 大丸前・三宮神社東

TEL (331) 5772

(毎週水曜日休み)

支店 さんちか味ののれん街

TEL (391) 5233

(第3水曜日休み)

ハイカラの伝統生きる
ヤタナカオ

高級洋品雑貨

元町三丁目
TEL (331) 553705



まだ遅くない

葉月 一郎

え・小西保文 (題字も)

〈15〉前衛部隊

屋下がりの支局に、漢電(漢字電送機) タイプを叩く音が規則正しく流れた。

若いパンチャーの指が、熟練したピアニストのように文字盤の上を軽快に泳ぎ、リズムカルな響きを立てている。

支局の原稿は、この漢電によって大阪の本社へ送られる。神戸でタイプを叩くと、同時に本社で受信用のテープが回り、そのまま活字化されるのである。

「発車、進行、ですわ」

感慨をこめて、戸波は背後の泉田次長を振り返る。泉田が、ニコリともせず背く。

パンチャーが送信している原稿は、兵庫製鉄キャンペーンの第一弾、「赤いけむり」と題した連載記事の一回目と二回目なのだ。

あと三日。来週の月曜から掲載がはじまる予定である。

「絵は、できたのですか」



ね

〈あらすじ〉昭和四十五年秋。毎朝新聞神戸支局の戸波隆吉は、愈々日常の中で、バーの女ユカとの情事に溺れていたが、地元の大手企業兵庫製鉄(兵鉄)の公害ユカたちが苦しんでいることを知り、石津支局長たちの企画した公害キャンペーンに参加する。その直前、戸波は船客にからまれていた兵鉄秘書課の細川亜紀子(あきこ)を助ける。後日、亜紀子は会社首脳らが協議した新聞社対策などの内容を相次いで戸波に知らせ、唇を舐めて「好きだ」と告げたりする。公害告発の取材は大詰めを迎え、兵鉄の和久井社長、大北専務らとの会見も実現するが、会社側は高姿勢の答弁をつづける。そして、毎朝新聞に対し広告の掲載を取りやめるなど圧力工作をはじめる。戸波との接触の内容を会社の花房総務部長に逐一連絡していることで亜紀子に疑念を持った戸波は、ある夜、亜紀子を誘って六甲山頂のホテルへ投宿する。そこで亜紀子は、かつて誤報記事を書かされて自殺した記者の妹であることを告白、会社からの圧力がさらに加わりそうだと戸波に告げ、抱いてほしいと身を投げかけてきた。

「ああ、これだ。なかなかの力作だよ」

泉田は、引出しから、十枚近い絵を取り出してみせた。

描いたのは地元の、というよりは日本の洋画界で、この二、三年前から大きく頭角を現してきた吉良陽之介。その画伯を起用して、とくに「公害の町のスケッチ」を書かせたのである。

「さすが、だな。なによりも、筆をとったときの姿勢が

いよいよ」

連載記事には毎回写真を添えるつもりだった。それが、この朝、急拠、吉良画伯の絵に変更された。

画伯自身の知名度もある。が、それよりもスタッフの心を打ったのは、一連の絵の持っている凄惨なまでの迫力であった。あの枯淡なまでに物静かな従来の画調が、嘘のように一変していたのだ。

「それだけ、公害がひどいということやなあ」

届けられた絵を睨みつけていた石津支局長が、うなるような声を出した。そして、この男らしい速断で、写真を絵に変えることを決めたのである。

「見とってみい。吉良センセイ、これから、こんな調子の絵ばかり描くようになるで」

一流画家をバリバリと咬みくだいてしまいたいような、新聞人らしい征服欲が、その言葉のはしにうかがわれた。

「写真は写真で使おう。連載が終わったところにグラフ特集で、ぶっつけたらいい」

飽くことのない食欲をみせつけながら、支局長は絵から視線を離そうとしなかった。

キャンペーン記事の訴えかけ――。

同時に添えた、この絵の迫真力――。

身ぶるいしたくなるような興奮が、戸波を包む。

(黙ってたら、ちっともよくならないわ)

ユカの声を思い起こす。

そうだ。

記者も、絵かきも、巷の人たちも、みんなで声をそろえて叫び声を上げなくては……。

パンチャが、連載シリーズの二回目の原稿を送りはじめた。

一回目は「住民のカルテ」つまり、東神戸で被害を受けている人たちの、症状や声をまとめたものである。

そして、この二回目の題は、「外堀・内堀」。大企業兵庫製鉄を城の本丸として、それを取り巻く堀割のような

おびただしい下請工場に対してメスを入れている。

工場の幹部による地元自治会の締めつけ。公害反対の動きに対する封鎖作戦やアカ攻撃……。

神戸市と結んだ公害防止協定には、住民が立入り検査できることをうたっているが、その住民代表の一人は、有力下請会社報徳工業の有野社長が選ばれている事実も。

この二回目を松岡記者と二人で担当した戸波は、取材で知り合った地元の畳屋 金原祐介のことを思い出していた。

「新聞なんかアテにしとらん」

そういいながらも金原は、戸波が訪れるたびに資料を出してくれた。

無愛想な、早く帰れといわんばかりの応対なのに、手渡された資料は部厚く、一つひとつが正確で、的を射ていた。

「みんなにわかるように、うまいこと書けるかねえ」

冷笑ともとれる口元だった。

「誇張したら、あかんよ。ひかえ目に、おさえて書いてくれた方が効果があるからな」

まるで、編集局長みたいなことばも聞いた。

そのつど戸波の神経は、まるで火傷した皮膚のようにひきつった。

この男は、大企業のお膝元に住みつくという生活環境の中から、タケノコのように頭をもたげてきている。「勇氣」などという生易しいものでなく、もったとしたたかな信念が、この男を支えているに違いない。

「住民のな、心の痛みみたいなものをわかったうえで、記事にしてももらいたいな」

四度目に会ったとき、金原はそういった。興味本位とか、一時的な正義感だけで取り上げるのなら、やめといってくれ、と顔に書いていた。

下町の畳屋の親父にすぎない金原の表情を、戸波はあらためてみつめ直していた。

(やはり、ただものではないな)

金原の住むあたりの町内自治会では、役員のなかば近くを彼の仲間が占めるようになっていた。

下請会社の幹部が「みんな、アカばっかりじゃ」と、敵意を露骨にみせたのを思い出す。

「いろいろご協力ありがとうございました。きつと、いい原稿にしてみせますから」

心から、そう誓う。しかし金原は、もう背中をみせて表替えの古畳に取り組んでいた。

いま、いよいよ本社へと送られてゆく自分の原稿を眺めながら、戸波は形容しがたい充実感をおぼえる。

この五年間、これほど背後の願いの重さを両肩に意識して鉛筆を握ったことがあっただろうか。

金原だけではない。

取材で会った被害住民の一人ひとりが、まさに「心の痛み」をぶつつけてきた。それを忘れてはなるまい。

あらためて、このキャンペーン企画を推し進めてきた石津支局長の胸の内をのぞいてみたいと思う。

その支局長は、さきほどから席のそばのソファで来客と話しこんでいる。客は、まるでボクサー崩れを思わせる中年の男である。

「泉田さん、あれ、だれですか」

泉田が、投げ捨てるような口調で答える。

「兵庫製鉄さ」

「え？ 本当ですか」

「正確にいうと、社員じゃない。ま、おかかえみたいな市会議員だよ。有野とかいったかな」

「有野？ 有野なら報徳工業の社長の……」

「うーん。たしか、その社長の弟だとかいってたな」

見覚えがある。

兵庫製鉄の下請会社が組織している「ひょうてつ会」の、実質的な推薦候補者だ。地元の区で、いつも最高点で当選してきている。

招いたのか、押しかけて来たのか。

支局長の表情は、斜めうしろ向きで、見えにくい。男

の方は、いかにも市会議員らしいゆつたりした物腰で、軽く背いたり、じつと腕組みして耳を傾けたり……

（これも、兵庫製鉄さし回しの、前衛部隊とみるべきか）不意に、全く不意に、戸波の胸の中を亜紀子が占領してきた。

「もつと、もつと圧力がかかってくるかもしれないわ」——そういつて、うつむいた白いうなじ。

「お願い、強く抱いて」——震えを帯びた柔かな肢態の息づかい。

熱く、なまなましい前夜の記憶が、あざやかに蘇えってくる……。

ふたりは、結ばれなかった。

並んだ二組の夜具に横たわりはしたが、ついに肌を重ねることもなく朝を迎えたのである。

心の中では、何よりもそれを求めながら、戸波はひたすら耐えた。

亜紀子も心の準備はできていたはずだ。激しいくちづけまでかわし、むしろそれを待ち望む気持もあったに違いない。

なのに、ひとりの男である戸波にブレーキをかけたのは、何だったのだろうか。

先輩記者、それも相手側の工作のために記事を誤報扱いにされて自殺した、いわば悲劇の英雄記者の妹であった、という新しい発見。それが、こだわりを生んだことは否定できない。

もうひとつ——。

そんな境遇の女性が、攻撃相手の公害工場の従業員であることは、記者にとって、好都合には違いない。しかし、いや、だからこそ、肉體関係まで進んでしまっていないかどうか。

ためらいは、そこからも生れた。

亜紀子を六甲山頂のホテルまで誘ったのは、好意や欲

望や好奇心など、さまざまな情念に従った行為にすぎない、ともいえる。所詮は、男の卑しい欲望だと片付けられても仕方のないことだ。

(広い意味で、行きずりの女に対する感情と大差なかったのかもしれない)

だが、先輩記者の妹であり、はっきりした意志をもつて公害工場の側から情報を提供しつづけていてくれるとわかったいま、軽々しく抱くわけにはいかないのではないか。

そんな理性を、戸波は持てあました。

「ぼくには女房がいる。もう三年前から別居したままだけ」

口に出すことで、自分の感情を封じこめようとした。

亜紀子は、しかし、表情ひとつ変えずに受けとめていた。

「知ってます」

「え？　そこまでわかったたの」

「ええ、みんな、うちの会社のリストに……」

「……………」

あらためて、兵庫製鉄の底知れぬ巨大さを思い知らされる。

それにくらべて、こちらは、あまりにも知らなさすぎる。街を住みよくしたい、ただそれだけを願って、素手で、ぶつかっているような無力感が、いつも心のどこかにあった――。

ふろへ入る。

窓をしめて、霧をさえぎる。

浴衣姿で、床に横たわった亜紀子が、ひどく女っぽく映った。新妻のような恥じらいが、眼元に浮かんでいる。

だが戸波は、かろうじて自分を抑えた。

静かに、天井へ視線を移すと、亜紀子がつぶやいた。

「一緒に、四、五日ぐらい、旅行したいわ」

「……旅か。いいだろうなあ」

「九州へ、そう、兄が勤務していた町を、一緒に回ってみたい」

その町なら、一度だけ走り抜けたことがある。

昔の殿様の屋敷を改造した海辺の庭園、三宮にひけをとらぬほど賑わっていた繁華街、城山から見下ろした街のたたずまい、そして、濁りを知らぬ若い海――。

二人の記憶をつなぎあわせると、一つの城下町が完成した。

話はずむ。話題は、若いのちを自ら絶った亜紀子の兄へと移っていった。

入社後、はじめて地方版に載った小さな自分の記事を、速達で送ってきた話。

ひとかかえもある名産の大根をかついで、帰省したときの想い出。

「自分の思ったことを、少し考えてから口に出すところなんか、戸波さんとそっくりでした」

深い深い瞳のいろである。兄を信じ、なつかしみ、愛している妹のところが、そこにあふれているような……。

九州を語り、兄に触れることで、亜紀子も気づまりな雰囲気をはぐそうとしているようにとれた。

はじめての二人だけの夜。それが、どうやら何事もなく明けそうだと、このとき戸波は思う。

(これでいい。このほうがよかったのだ)

それは、確信に似ていた。

「母と、来年大学を出る弟と、三人で暮らしています。その気になったら、いちど、遊びに来て下さいね」

亜紀子がそう告げたとき、窓の向うに朝がのぞいた。霧のかわりに、小鳥のさえずりが聞えた。

腹の底へ響くような重い声で、戸波は甘酸っぱい追想から引きもどされた。

声の主は、支局長と話しこんでいた市会議員の有野だった。わめくのと同時にソファから立ち上がったらしき、突っ立った姿がみえた。

「やめるのか、書くのか、どっちやねん」

支局長をにらみすえたまま、有野の口から再び罵声が飛んだ。

思わず、急ぎ足で近寄る。

支局長は、その戸波へチラと目をやると、ゆっくり視線を有野へ戻した。

意外に平静な表情である。どうでもいいことを、なぜこんなに騒ぐのか、といった顔付きでもある。

誘われるように有野も再び腰をおろした。しかし、語調は荒れたままだった。

「ええかな。神戸に住んでいる人間として、兵庫製鉄に

弓をひくヤツを、黙って見逃がすわけにはいかん、というとるんやで」

「いや、そのところが、よくわかりませんな。私たちは、なにも、弓をひくとか……」

「やかましい。公害のこと、書き立てる。それも、アカのいう通りに騒ぎ立てるちゅうのはな、どうしても許せん。第一、社会不安を起すモトやないか」

まるで、何一つ聞いていない素振りで、支局長はタバコをくわえた。ゆっくりと、ことばをはさんだ。

「ご批判は、なんぼでもお聞きします。でも、それは、新聞に載ってからにしてくださいませんか」

「それでは遅いから、こうやって、わざわざ出て来とるんやないか。それに、そんなもんが出たら、新聞が売れんようになるで」

「結構です。いくら部数がへつても構いません」

はじめて強い口調が返る。反射的に、有野が拳でテーブルを叩いた。

「ええ加減にせんか。ええ？」

わしのうしろにはな、命知らずの若いもんが、五十人から百人はおるんやで」

歴戦のボクサーに似た顔のこめかみあたりで、血管が赤くふくれ上がってみえた。

(つづく)



愛読者
サロン



★早いもので一九七四年も残すところあと一カ月になりました。ふり返ってみると神戸の街も今年はいろいろな出来事がありましたね。徐々で

★神戸の地を離れて二年が経ちまし
(灘区谷本昌平)

浜と神戸、いちど特集を組んでみてはいかがですか。

すれば、もっとじかに街の人々の表情を伝えてくれる部分があればより楽しい本になると思います。

(平塚市 田中清)

るからそれほど遠い気はしない。でもやっぱり想い出すのは、海、潮風、緑の山々、そしてヨーロッパ的香りのする神戸の街です。

(東京都 大橋 十三子)

後編
記集

★一九七四年の編集を終えて、いよいよ昭和五〇年を迎える。サンタも驚く不景気な年の瀬。使い捨ての時代は終わって、磨きをかけて物を使う時代がもどってきた。ここで生き

残つてこそほんもの。神戸っ子

も街の雑誌としての心意気を失わな

いで、じっくり見きわめながら五〇

年を迎えたい。

〈小泉康夫〉

★いやなことが多い年の暮れだが、

たします。
来年もいい年でありますように！



★月刊神戸っ子を毎月お読みに
なりたい皆さま、また神戸を離れて
お友達に、神戸の香りをとおどけ
なりたい方は、編集室あてにお申込
み下さい。さっそくお送りします。

6 力月分 一三〇〇円

1 年分 二五〇〇円（送料共）

★月刊神戸っ子をお買求めの時には

左の本屋さんへどうぞ。

南堂 国鉄本山駅北口

小原光文堂
国鉄住吉駅北口

東山区木山

南天往書店
反急六甲沢2皆

新聞會館1階

フ
ン
書
房
葦
合
区
布
引
町
4

神戸図書 生田区古湊通1

振替口座 (331) 2 2 4 6 (代)
神戸四五一九六
頒価 200円

神戸のうまいもんとドリンキング

★日本料理

そば 吾 作
神戸市生田区中山手通2丁目3-17
TEL 242-2858

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市真合区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食 くれない
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かつぱう 花くま
神戸市生田区花陽町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび 悟味西
お茶漬・かはた
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちがタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび ふる里
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼 たちなばな
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 蝦夷
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 婆娑羅(ばさら)
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急西口北側レインボーラザ1・2F
TEL 321-6363

★西洋料理

レストラン アポロン
神戸市真合区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

レストラン 皮(あらかわ)
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE SAN-MON 三門
神戸市生田区中山手通2丁目98/99
TEL 331-5817

ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン セントジョージ
神戸市生田区北野町1丁目130
TEL 242-1234

レストラン 男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル きゃんどる
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン キングスアームス
神戸市真合区磯辺通4-61
TEL 221-3774

居酒屋 風れすたらん 井戸のある家
生田新道新世紀南
TEL 331-5664

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道
TEL 331-9554

串かつ店 和蘭陀屋
三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230

クリル・鉄板焼 月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

Regent House SOFIA(蘇菲亞)
神戸市生田区中山手通6丁目84
TEL 341-0658

レストラン ハイウェイ
神戸市生田区下山手2-30
TEL 331-7622

ビッツアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック東店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ピザ&スパゲティ ガルの店
真合区琴崎町5丁目1-7
西山ビル1F TEL 241-9025

レストラン ミリオナークラブ
生田区山本通2丁目50の2
レストラン 231-9393-5
メンバーズ 221-1162

フォーグ ウェスタン ローストシティ
神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 331-3770

RESTAURANT & BAR ゴックスタッド
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理 ティファナーナ
神戸市生田区中山手通1丁目4/12 パールコーポラスビル1F
TEL 242-0043

ドイツ風音楽レストラン コーベ・ローレイ
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

★喫茶

宮水の にしむら珈琲店
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872・231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669
北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会費制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶・レストラン バロン
神戸三宮サンブラサ地下 TEL 391-1758
トアロード店 TEL 391-1210

喫茶 ガーディニア
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F
TEL 321-5114

珈琲 モーツアルト
神戸市生田区山本通2丁目98 グランドマンション1F
TEL 241-3961

★club

くらぶ 阿似子
神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 331-6069

club 飛鳥
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

club 小万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

club さち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

クラブ 十
神戸市生田区下山手通2丁目21
TEL 391-1077

club なぎさ
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

club 落(ふき)
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

くらぶ ぶーげん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

club Moon Light
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0157

クラブ るふらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK
ドリンク & レストラン ベルビュ・ドール
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321-5677

スタンド 英国屋
生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 331-1100・331-6600

洋酒ハウス 雑貨屋
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相互タクシー横上る) TEL 321-0269

スタンド グラムール
生田新道ビル地階 TEL 331-4637

SNACK MATSUMOTO
神戸市生田区中山手通1丁目32-3
曾根ビル1F TEL 241-5470

カクテルラウンジ サヴォイ
高梨山側 テキの店北
TEL 331-2615

スタンド 晴海(Sei-kai)
生田区北長狭通2-141
TEL 321-2250

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
神戸市生田区下山手通1丁目32
PHONE 078-241-7320

スナック ビジービー
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1F
TEL 331-3575

Wine and something 珍地理屋
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロン 神 戸 時 代
生田区中山手通1丁目28
シャトウコストブキビル TEL 242-3567

スタンド くる実
生田区中山手通1の72
TEL 331-6985

洋酒の店 キャンティ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 391-3060・391-3010

スープとパン店 キャンティ北店
神戸市生田区下山手通3丁目8-9 TEL 331-3661

DRINK SNACK スネカジリッ子
神戸市生田区下山手通2丁目
永晃ビルB1 TEL 391-8708

Stand&Snack サントノーレ
生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 391-3822

Salon de roulette サントノーレ
パン・ド・ラ
ル・レッド教室 神戸市生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6F TEL 241-1710・221-3886

素 香 洞 で っ さ ん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND マシュケナダ
生田区下山手通2丁目ちやいタウン・地下
TEL 331-5587

スナック GASTRO
神戸市生田区中山手通3-20
トアマンション TEL 231-0723

スタンド クラブ・ガーデニア
神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329

SNACK 山の手
神戸市生田区中山手通1丁目
ツネビル1F TEL 221-3637

スナック 比。奈古多
神戸市生田区北野町1丁目143
Tel 241-1306

サロン アルバトロス
生田区中山手通1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231) 3300

スナック エルソタノ
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

スナック 山荘
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

スタンド 紋
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1 レンガ館
TEL 331-8858

★Kobe Play Guide Map★

神戸のうまいもん＆ドリンキング





balcon antique series

XXIV ワイン棚

清水 俊夫

〈クロス社長〉

「わが家は、家族そろって夕食にワインを楽しむことにしていますので、いろいろ飾り棚や、グラスそれにワインも集めていますが、健康にもいいし一挙両得ですね。センター街のバルコンはとても落ちついた雰囲気で、珈琲も美味しいからいいですね」

センター街バルコンにて

カメラ/米田 定蔵



バルコン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM 9:00迄

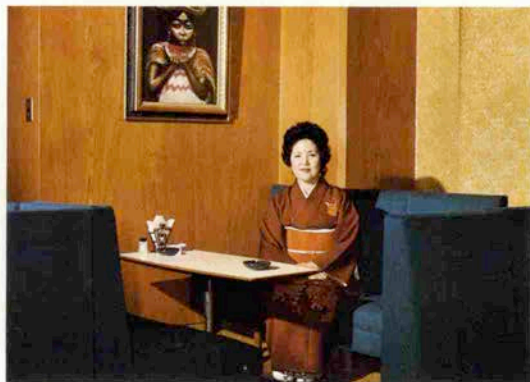
★コーヒーショップセンター街店
TEL 391-1375 AM10:00~PM 9:00迄

Christmas



CLUB AIKO

生田区中山手2-89 ☎331-6069



club 小万

生田区東門筋中島ビル3F ☎391-0638, 4386



GASTRO ガストロ

生田区中山手通3-20 トーアマンション1階 ☎231-0723



カクテルラウンジ SAVOY

サウザン

高架山側 テキの店北

☎331-2615

Merry



club **なぎさ**

生田区北長狭通 2 の 1 ☎ 331-8626



club **ムーンライト**

三宮・生田新道 ☎ 331-9554



Stand & Snack **山荘**

生田区北長狭通 1 丁目 22 ☎ 391-5823



SNACK
VERSE

生田区加納町 4 ☎ 321-1080

MERRY
CHRISTMAS



ナイトクラブ・レストラン

北野 クラブ

神戸市生田区北野町1-64 ☎231-2251

フレンチレストラン

ブランドゥブラン

神戸市生田区京町77-1 神楽ビル ☎321-1455

レストラン

ストックホルム

東京都港区六本木6-11-9

スウェーデンセンター

☎(03) 403-9046

〈クリスマスパーティーご案内〉

〈北野クラブ〉

○ レストラン 12月21日(土)～25日(木)

5:00P.M.～ お1人さま1万円

(2階レストランでのお食事、1階ナイトクラブでのテーブルチャージ、ショーチャージ、税、サービス料込み)

○ ナイトクラブ 12月21日(土)～26日(木)

6:00P.M.～ お1人さま1万円

(お飲み物、オードブル、テーブルチャージ、ショーチャージ、税、サービス料込み)

○ 連日有名外人タレントの豪華ショー

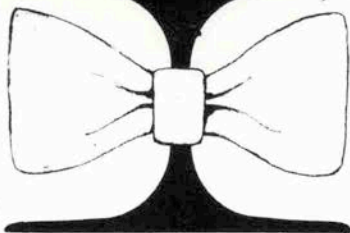
〈ブランドゥ ブラン〉

12月21日(土)～25日(木) 5:00P.M.～

お1人さま8千円

(クリスマス・スペシャルディナー、税、サービス料込み)

○ 連日、楽しいアトラクション



Merry Christmas



くらぶ 山 川

神戸市生田区北長狭通1丁目28の1(ホワイトローズビル3F)

電話(078)331・3225・9327

私とくらぶ山川<3>

私は仕事の関係で多くの友人、知人が居りますが、一日の仕事も終り「どこかで一杯」と言うと、皆んなが山川へゆこうかと山彦の様な返事が帰ってくる。

私はその一瞬何故山川が良いのかと思う。それは人情薄い、今日この頃、ママを頂点に美女と客の和、明るさ、話題の豊富さで、人生しばしの休息を與えてくれる山川。先日東京方面に出張した時、ある會社の人と雑談中、地方の社交場の話になり、神戸ではと聞くと一番に生田新道くらぶ山川と言ってくれました。出張先でそういう声を聞くと一番嬉しくなって、帰神するまで愉快でした。

今後益々人生の喜びを與えてくれるくらぶ、山川でありますように。

福井運輸株式会社 社長 福井 巖

神戸のくらぶ山川が淡路島にオールシーズンロッジをオープンしました。
只今会員募集中です。お問合せはofficeへどうぞ!

AWAJI
**YAMA
KAWA**

兵庫県津名郡五色町都志角川字土井越1467番
PHONE 07993-3-0352 OFFICE 078-391-1958



民芸風
お座敷と、お気軽な
テーブルの御食事処



- うどんすき.....¥ 1,200
- 寄せ鍋.....¥ 1,200
- すき焼.....¥ 1,500
- しゃぶしゃぶ.....¥ 1,500
- かにちり.....¥ 1,500
- 魚ちり.....¥ 1,500

●ランチタイム…定食二割引
※御宴会は80名様迄・ご家族様の小部屋もございます。

民芸風 お食事処

鍋物・会席

楽 珍

阪急三宮西口北レインボープラザ3F

三宮阪急西口店 ☎321-5200(代表)

四季おりおりの 旬の味覚を存分に……

“婆娑羅”は かに料理を中心に
四季おりおりの旬の味覚を存分に
ご賞味いただく和風レストラン…
ご商談・ご宴会・ご家族連れまで
あらゆる集いに ご利用ください



神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F
☎(078)321-6363



かに料理の店

かずかずの海の恵みが
味わえる季節……
なかでも
日本海のカニの味覚こそ
その王者といえましょう。

カクテルサルーン

Mermaidは
神戸のオアシス!

貨物船ムード!

ゴージャスな雰囲気!!

各種洋酒、その他料理も多くとり
そろえて信じられない程安い価格
でお楽しみいただけます。

▲メンバーボトルも御利用下さい。



カクテルサルーン

マーメイド

神戸・三宮阪急西口北側 レインボープラザ地下
☎(078)331-7660
営業時間 — PM5:00 → PM11:30



Restaurant
Calvados

生田区山本通4丁目97
☎ 231-6137~8



DRINKING IS AN ART OF LIFE

WOODHOUSE

生田区中山手通1丁目32
山内ビル
☎ 241-7320

MERRY CHRISTMAS

潮
うしお

西宮市小松西町2-1-1

☎ 0798-47-3001



Regent House

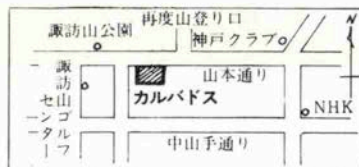
SOEILA

生田区中山手通6丁目84
☎ 341-0658



★たとえば彼女と食事をしようとしてクルマに乗ったとする。さて、どこへ行くか？ 静かな場所、ムードのあるところというところ…… 仲々決まらない。が、もし、君が一度でも“カルバドス”へ行ったことがあるのなら、迷わず、クルマは諏訪山へ……。閑静な周囲にうまくマッチした欧風調のシャレレストラン“カルバドス”。ピアノの音色と甘いボーカルがきつと彼女を魅了するだろう。君が洗練されたセンスを誇るなら、“カルバドス”こそ君にピッタリの店なのだ。〈ピアノ&ボーカル〉月・水・金・土曜日 山本憲一、羽岡利幸、火・日曜日 坂本完二、レギュラー 高橋真知子

☆レミニッツステーキ ¥ 2,000 ビーフシチュー ¥ 1,500
エビとパンのフライ ¥ 800 ミートボールシチュー ¥ 1,300
サラダ ¥ 500 タンシチュー ¥ 1,300
バレンタイン ¥ 500 バレンタインボトル ¥ 7,000
7:00P.M. ~ 2:00A.M. 木曜日休み



カルバドス

★寒い冬にはじまって、すがすがしい春をむかえ、暑い暑い夏も乗り越え、さわやかな秋がすぎ……早いもので街はもう冬。“ウッドハウス”の一年がアツという間にすぎました。

ありがとうございます。“ウッドハウス”は皆さまのおかげで一周年を迎えました。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

1974年もあわずか……。今年一年何があったか。カウンターの片隅で、グラス片手にぼんやり思い出すいろんな出来事に、ただニヤニヤ。

1974年のビリオドは、“ウッドハウス”で飲み納め。

☆年末年始の営業ご案内

12月31日④休業。1月1日④2日④3日④4日④5:00P.M. ~ 0:00A.M. 6日⑤より平常通り営業いたします。1月19日⑤20日⑤21日④は臨時休業いたします。

☆昼(11:30A.M. ~ 7:00P.M.) コーヒー ¥150 紅茶 ¥150 ビラフ ¥250 サービスランチ ¥300 夜(7:00P.M. ~ 4:30A.M.) ビール(小) ¥300 水割り(OLD) ¥400 フィズ ¥500 おつまみ ¥100 平日 11:30A.M. ~ 4:30A.M. 日曜 5:00P.M. ~ 0:00A.M. 第1・3日曜日休み



ウッドハウス

Merry Christmas



ウシオ

蘇 排 亜



★刺烹“潮”の落ち着いた雰囲気なかで、腕自慢の板前さんの手になる日本料理をお召しあがりになりませんか。12月で開店2周年をむかえましたが、おかげさまで、この間、味につきましては多くの方々から定評をいただいております。お客さまの人数やご注文のお料理によって、カウンター席、椅子席、座敷席をご利用いただけます。お料理では、特に、天ぷらとうなぎが自慢です。これからの季節には、忘年会、新年会など、20名様までのご宴会を承っております。ぜひ、一度、お立ち寄り下さい。

☆天ぷら定食 ¥1,200 刺し身定食 ¥1,200 うなぎ定食 ¥3,000
他に、スッポン鍋、テッチリ、魚チリ、うどんすきなど各種の日本料理がございます。

12:00P.M. ~ 3:00P.M. 5:00P.M. ~ 11:00P.M. 第1・2・3日曜日休み

★東欧ブルガリアの主都ソフィア。ロマンの香り漂う北の町……。このほどお目見えした Regent House “SOFIA” は、そんなロマンチックな手におかれを秘めたお店です。ティー&スナックタイムには、香り高い珈琲が、レストラン&ワインタイムには、SOFIA特製の料理の数が、寒い季節を忘れさせてくれます。粋で、スマートなあなたを魅了するお店。あたたかく、落ち着いた雰囲気のお店“SOFIA”。神戸の山手にたそがれがせまる頃、“SOFIA”は一段とその輝きをましてくるのです。専用駐車場完備。

☆〈Tea Time〉 珈琲 ¥250 ストレート珈琲 ¥350 より、ベーコンエッグサンド ¥400 より ミラノ風スバゲティーなど 〈Restaurant Time〉 ソフィア特製スープ ¥350 ソフィア特製テリヤキ ¥2,000 より エスカゴ ¥800 ウィスキーキープボトル ¥6,000 より 〈ティー&スナックタイム〉 11:00A.M. ~ 6:00P.M. 〈レストラン&ワインタイム〉 6:00P.M. ~ 11:00P.M. (日曜日は 5:00P.M. ~ 11:00P.M.) 第2・4日曜日休み